

第3回ミニセミナーを実施しました



地域支援センター

今年度も小学校や中学校、各事業所等の方々を対象に、ミニセミナーを実施しています。

第3回は1月17日（水）に「特別支援教育（知的・情緒）における自立活動の指導事例紹介」というテーマで、県特別支援教育センター指導主事の遠藤 孝太郎様を講師に実施しました。講話を通して、行動の背景・要因を推察して丁寧に実態をみることや子どもとの対話を通して目指す姿や学ぶ意義を共有することなど、自立活動の授業づくりのポイントを分かりやすく教えていただきました。また、受講者自身のこれまでの授業づくりや実践を振り返るきっかけにもなりました。

参加した方々からは、以下のような様々な感想をいただきました。

- ・実態把握の大切さを改めて感じる事ができた。
- ・強みや好きなことを知ることも大切だということが分かった。
- ・生徒との対話を通しながら目標設定をしていく大切さが分かった。教師だけで設定してしまいがちなので今後気を付けていきたい。
- ・自立活動は児童が主体であるということを再確認することができた。
- ・集団で行う場合にも、個々の課題を盛り込むことが大切だということを知ることができた。
- ・何をどのように学ぶかを生徒との対話を通しながら確認していくことが学習の意義の理解や主体的に学ぶ姿につながるという点で、園児に対しても対話していくことが大切であるということを感じた。
- ・本人の気持ちをしっかり知ることが大切だと分かった。



第3回ミニセミナーをもちまして、今年度のミニセミナーは終了となります。
来年度も実施する予定ですので、ぜひご参加ください。